

令和3年度 学校経営計画書

学校番号	20	学校名	静岡県立沼津城北高等学校	校長名	高石 達寿
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

- ◎個性を磨き、社会に羽ばたく「高い志」を育成する
- ◎知識基盤社会を生き抜く「学ぶ力」を育成する
- ◎自らを鍛え、自他の人権を大切にする「人間力」を育成する

(2) 目標具現化の柱

ア 進路希望の実現

- ・キャリア教育の推進による「職業観」と「進路意識」の高揚
- ・進学講習、小論文・面接指導、英語4技能の向上等による「総合的受験力」の向上
- ・変化する入試制度に関する継続的な情報発信と模擬試験等の結果の分析と活用

イ 確かな学力の定着

- ・アクティブ・ラーニングの深化、シラバスや観点別評価表作成等、「新学習指導要領」への対応
- ・「学びの基礎診断」の活用と家庭学習習慣の確立による「基礎学力」の定着
- ・「学ぶ力」の基盤としての「読解力」の育成

ウ 人間力の育成

- ・生徒会活動や学校行事の充実による「主体性・協働性」の育成
- ・充実感と効率を高める部活動の実践と学習活動との両立の達成
- ・生徒指導の徹底による「規則正しい生活習慣とマナー」の確立
- ・人権教育や沼津特別支援学校愛鷹分校との共生・共育の実施による「人権意識」の涵養

エ 安全・安心な学習環境

- ・防災体制と防災教育の充実
- ・自転車事故の防止とSNSの不適切利用の防止
- ・治癒率の向上と感染症の予防
- ・スクールカウンセラーとの連携や各種診断テストの活用による教育相談体制の充実

オ 地域との連携

- ・地域行事やボランティア活動への参加による地域に貢献できる人材育成
- ・広報活動による地域への「情報発信」と防災関係の連携
- ・地域、PTA、同窓会等外郭団体との連携による「新構想高校開校への準備」

カ 頼もしい教職員

- ・教職員研修の充実と各教職員の強みを生かした組織運営の促進
- ・ワーク・ライフバランスの推進
- ・コンプライアンスの徹底

様式第1号

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 進路希望の実現	職業観と進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間でのキャリア教育の推進とシラバスに基づいた効果的な指導の実践 ・進路ガイダンス、卒業生と語る会、卒業生による学習支援や進路アドバイス、小論文指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業を見通した文理選択 ・2年次10月までの進路希望学校名決定50%以上、大学・短大希望者は学部学科決定70%以上 ・進路研究を生かした各自の目的意識に合った進路決定 	進路課 教務課 学年部
	総合的受験力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部模試を活用したPDCA ・進学講習指導の見直し ・模擬試験のデータや進路に関する分析や情報の共有 ・総合型・学校推薦型選抜対応のための小論文、面接指導強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部模試の成績向上（中間層の向上） ・小論文、面接の対応能力向上 ・志望理由書作成能力の向上 ・進学講習参加者増加と満足度向上 ・進路希望実現者の増加（3年1学期までの進路目標定着80%以上） 	進路課 各教科 学年部
	変化する入試制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科における大学入学共通テスト対策の具体的な継続指導 ・大学入学共通テストの分析 ・GTEC及び実用英語検定事前指導の充実と継続的指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストに対応した継続的な進路指導の展開 ・英語4技能7段階のグレードCAN-DO statementsの確認と具体的な目標設定 ・GTEC（A2以上）実用英語検定（準2級以上）合格の増加と下位層の学力向上 	進路課 英語科 学年部
イ 確かな学力の定着	新学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（研修） ・新教育課程のシラバス作成 ・育成すべき資質能力の整理と観点別評価の研究・推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の研修への教員の積極的な参加 ・令和4年度入学生のシラバス作成 ・教科別研修会の実施 ・新学習指導要領の理解の促進 ・教科単位で観点別評価の基準表を作成 	教務課 授業改善委 教育課程検討委
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と指導計画の整備 ・週末課題等の研究（各教科） ・「学びの基礎診断」の活用方法の工夫と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間と学習理解度の増加 ・大学入学共通テストの成績向上 ・「学びの基礎診断」のPDCAサイクルに基づいた活用促進と指導への反映 	教務課 （各教科） 学年部
	読解力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科での教科書の読解指導 ・SHR等を利用した諸活動 ・読書活動の充実、図書館だより発行や読書会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科での読解力を意識した授業展開 ・聞く・書く・話す等まとめる力の向上 ・朝読書の充実と読書量の増加 	各教科 総務課 各学年
ウ 人間力の育成	生徒会活動や学校行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の生徒会活動 ・学校行事の事前事後指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や学校行事の運営に主体的に携わる生徒30%以上 	生徒課
	部活動と学習活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の活動目標に応じた活動計画の設定と効率の良い運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画作成と周知、活動目標の達成 ・満足度75%以上と県大会出場者50人 ・各学期の欠点保有者が3%未満 	生徒課 各部活動
	規則正しい生活習慣とマナーの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や礼法の指導の徹底 ・登校指導の実施 ・服装、頭髪指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒らしい身なりや行動の実践 ・全校生徒の自発的挨拶と対応力向上 ・服装頭髪検査時の違反0人を2/3以上 ・進路実現に向けたマナー等の確立 	生徒課 学年部
	人権意識の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の実施 ・共生共育の実施 ・相談室だより等の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人権意識や人権感覚の涵養 ・配慮が必要な生徒への適切な対応 ・生徒間の対人トラブルへの適切な対応 	保健課 生徒課

様式第1号

エ 安全・ 安心な学 習環境	防災体制と防 災教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識を高める広報活動 ・安否確認訓練と避難訓練の年 各2回実施と内容の工夫 ・予告なしの避難訓練実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練の参加者70%以上、不参 加者の追指導と合わせて100%の参加 ・安否確認訓練において1回で応答する 生徒90%以上 	総務課
	自転車事故の 防止とSNSの 不適切利用の 防止	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施 ・自転車マナー委員会の実施 ・携帯端末による不適切なSNS 利用者の個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生件数10件以内 ・SNSの不適切利用者指導が10人以内 	生徒課
	治癒率の向上 と感染症の予 防	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室利用調査に基づいた個 別指導の実施 ・健康診断有所見者の治療促進 ・感染症予防対策の徹底 ・保護者への広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断での心電図、貧血、尿検査の 有所見者は100%受診(検査、治療) ・歯科・視力の受診率60%以上 ・生徒、保護者の健康に関する意識向上 ・マスク着用や手指消毒等の徹底 	保健課
	教育相談体制 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・性格診断検査の実施 ・相談室の有効利用の促進 ・スクールカウンセラーの活用 ・教職員間の情報共有と理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒の性格診断検査実施と結果の有 効活用 ・困り感のある生徒や問題を抱えた生徒 への支援体制の確立と連携の充実 ・気軽に相談できる環境の確立 	保健課
オ 地域との 連携	地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉クリーン作戦等の環 境美化活動への参加 ・ボランティア活動への参加 ・部活動単位での地域行事への 参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動等への積極的参加による 地域貢献 ・ボランティア活動や地域行事への参加 による生徒の社会性や参画意識の向上 	保健課 生徒課 等
	広報活動による 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改善と積極的 な更新 ・学校説明会、一日体験入学等 の内容の工夫と充実 ・中学校訪問の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの内容の充実と更新回数 増加(閲覧状況の調査) ・学校説明会、一日体験入学参加者の理 解度や満足度の向上 ・近隣中学校への積極的訪問と情報発信 ・志願者数の安定確保 	教務課 管理職
	新構想高校開 校への準備	<ul style="list-style-type: none"> ・県教委担当部署との連携 ・探究学習検討委員会の設置 ・PTAや外郭団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンリーワン・ハイスクール事業の推 進による魅力ある学科設置等の研究 ・総合的な探究の時間の見直し ・令和4年度入学生生の探究活動の研究 	管理職 総務課 委員会
カ 頼もし い教職 員	教職員研修の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の工夫と改善 ・経年研修や希望研修の充実 ・校外研修内容の報告と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間3回の校内研修の充実と授業改善 ・校内における教職員同士の学び合いに よる研修の充実と同僚性の向上 ・AL型授業の深化と観点別評価の推進 	教務課 授業改善委 管理職
	ワーク・ライフ バランスの推 進	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部署や各個人における業 務効率化の具体策実施 ・勤務時間の管理方法の徹底 ・メリハリのある部活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員による業務効率化実施100% ・時間外業務時間の対前年比5%減少 ・全部活動の活動目標、年間指導計画作 成と効率的な活動の展開 	管理職
	コンプライア ンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事根絶の呼びかけ ・根拠法令等の随時確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全意識の高揚 ・飲酒、酒気帯び運転ゼロ ・体罰、パワハラ、セクハラゼロ ・監査、検査等の指摘事項ゼロ 	コンプラ委 事務室